

長部地区

■ 基本的考え方

防潮堤 既存防潮堤はいずれも復旧

○既存防潮堤はすべて再整備を前提とする。**※高さ(最大12.5m)、位置は地区意向等を踏まえ、今後決定。**

住宅 今回震災並みの津波による浸水可能性を考慮し、原則全戸高台移転

○防潮堤整備後であっても今回震災並みの津波による浸水可能性が残されることから、以下の方針で移転先を選定。

- ① 高台移転(今回浸水区域外)を原則とする。
- ② 移転先は地区意向調査結果を尊重して選定(1宅地面積:400㎡程度)。
- ③ 埋蔵文化財(散布地除く)、景観、自然環境保全上重要な箇所(目につきやすい岬等)、急傾斜地、保安林等を避ける。

○高台移転にあわせた集合住宅の整備を検討。

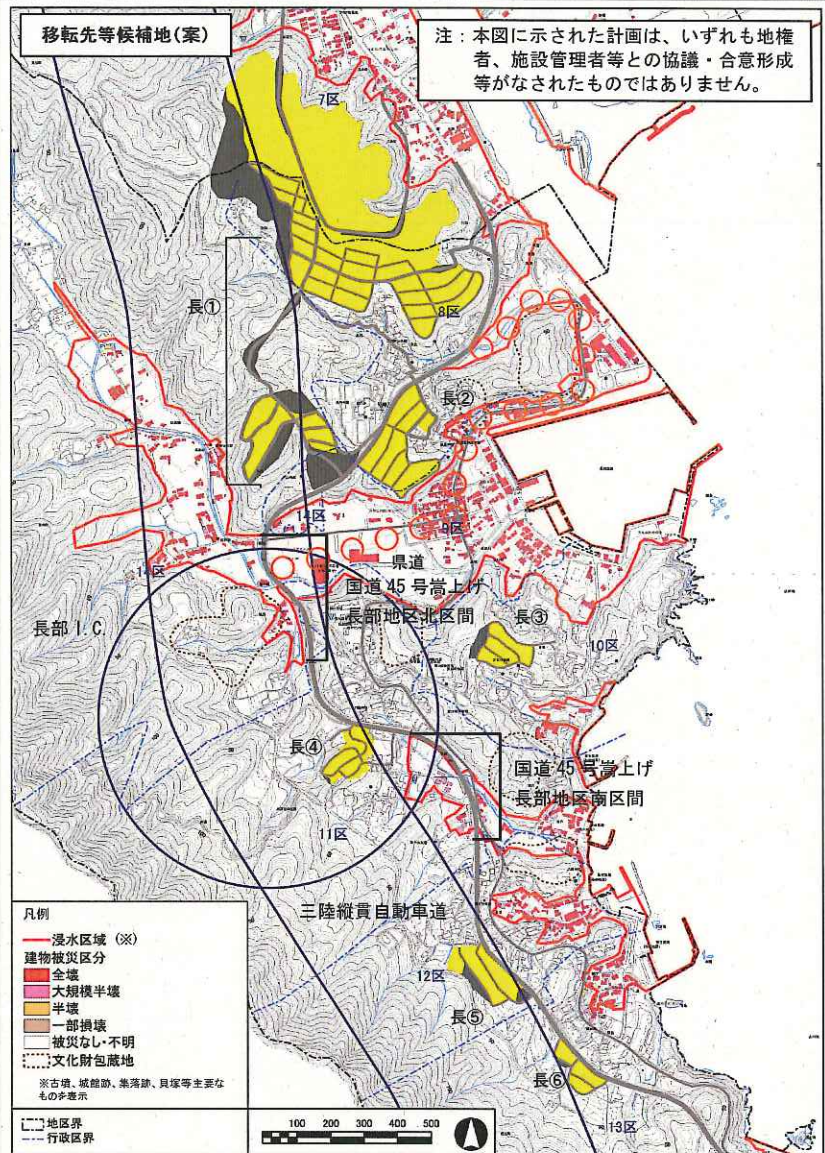
道路 津波被害を受けにくい道路を整備

- 三陸縦貫自動車道長部I.C.の整備。
- 今回津波で浸水した国道45号の北区间・南区間の嵩上げを要望。
- 長部漁港と長部I.C.を結ぶ県道の整備を要望。

○海岸からの避難道路の整備を促進。

公共施設等 水産加工団地の整備による食産業の振興

- 長部漁港水産加工団地を整備し、食産業の振興を図る。
- 被災した消防屯所を高台へ移転整備。
- 小学校は適正規模化計画にあわせて検討。



※本図に示した浸水区域は、現在作業中のものであり、実際と異なる場合があります。

表 被災各行政区の被災状況、地区意向調査結果、及び移転先(案) ※7月4日市民意向現地調査結果

行政区	戸数	全半壊戸数	必要宅地面積(ha)	地区意向調査結果			移転先(案) (番号は右区と対応)
				住民の意向	移転候補地の情報	その他	
8区	81	15	0.9	・高齢者世帯は現在地で住み続けたいという意向。 ・若い世代は、高所移転を希望。			長①または長②(高台)
9区	106	101	5.8	■第1希望: 現在地 ■第2希望: 集団で高台移転	月山神社北側丘陵地。	今泉地区との連携	長①または長②(高台)
10区	47	9	0.5	・10区の住民の意向は未聴取。 ・基本的には、現在地もしくは近接する高台移転を希望。			長③(高台)
11区	85	28	1.6	・要谷漁港周辺低地部の住民は高台移転希望。 ・国道45号沿道および以西の住民は現在地。		国道45号の嵩上げ望む。	長④(高台)
12区	69	26	1.5	■第1希望: 現在地。 ■第2希望: 集団で高台移転。	八坂神社西側。		長⑤(高台)
13区	50	20	1.1	・高台移転を希望。			長⑥(高台)
14区	64	43	2.5	・移転については区内で未協議。		国道45号の嵩上げ望む。	長①(高台)
合計	502	242	13.9				

(備考)必要宅地面積=全半壊戸数×400㎡/戸/(1-公共用地率(0.3))

※平成23年11月10日現在のものです。